

第4回野洲市総合計画審議会 子育て・教育・人権部会 議事録要旨

●日 時

令和2年7月22日(水) 14:00~16:00

●場 所

野洲市役所本館2階 庁議室

●出席委員(委員区分毎・50音順)

1号委員:大野 裕己委員

2号委員:中塚 勝委員、苗村 明夫委員、水島 章夫委員、山本 博一委員

●欠席委員

山口 桂子委員

●事務局

田中教育委員会次長、井上教育委員会次長、井狩生涯学習スポーツ課課長

川尻政策調整部次長、玉川企画調整課課長、岡田企画調整課課長補佐、垂企画調整課専門員、

亀井企画調整課主事

●傍聴者

なし

1 開会

2 報告事項

第3回審議会審議事項の反映結果について

—事務局より資料説明—

◇委員からの主な意見・質問

【委員】施策目標の表現である「〇〇しています」という表現が気になる。以前のような「〇〇に取り組みます」等の表現の方が妥当ではないか。

→【事務局】委員から5年後にはこういうまちになっているということを書いた方が分かりやすいという意見があり、このような書き方にさせていただいた。「施策目標」という題目に対しての表現に違和感があるということであれば、題目を「目指す姿」等に変えることも考えられる。

→【委員】あるべき姿を表しているのであり、理解はできる。全体でどちらかに統一すればいい。

→【部会長】「〇〇を目指す」と言ってしまう方がいいのかというと、それも問題であるように思う。

【委員】児童虐待相談件数を指標にあげるのであれば、相談件数を減らしていくのを目標とすべきではないか。

→【部会長】減るにこしたことはないが、ちょっとした相談ごとでも気軽に受けていくという観点からすると、減ることを目標にしているのかという懸念もある。増やすのか減らすのかが判断しにくい指標の場合は、複数の指標を設定するという方法もある。

→【委員】解決した割合等を設定できるといいと思うが、実際解決に至るケースはあるのか。

→【事務局】担当課からは難しいと聞いている。

3 審議事項

第2次野洲市総合計画 基本計画（素案）について

—事務局より資料説明—

1-2 青少年の健全育成

◇委員からの主な意見・質問

【委員】子どもたちと接している中で、自立ができていない、感性に乏しいと感じることがあり、施策目標に書いていることは重要である。

【委員】現状・課題の「団体の後継者の確保が課題となっている」の団体について、地域なのか、青少年の活動団体なのか等、例を挙げる方が分かりやすいのではないか。

→【事務局】地域ごとに、子どもの居場所づくりを行っていただいている団体を指している。

→【委員】具体的に子どもの居場所づくりに関わる団体と、側面的に子どもの安心・安全を守っているような団体と、両方あるのではないか。

→【事務局】具体を挙げるときりがないので、総称するような表現を考える。

【委員】取組方針①の「担い手の育成」について、何の担い手なのか、おそらく次代の活動の担い手だと思うが、具体的に入れた方が分かりやすい。また、取組方針②の「地域全体」というところは、「家庭や学校や地域や関係機関」の方が分かりやすい。主な取組における「青少年活動団体」は、例えばボーイスカウト、ガールスカウト、スポーツ少年団等、具体的に書く方が分かりやすい。

【委員】以前は、若手を対象に、年間数回のリーダーを育成する研修を市でしていた。事業そのものを子どもたちが喜ぶような形で具体的に進めていく指導者の育成が必要である。今は団体の継続も難しいような状況になっており、広くリーダーを募集するような施策があればいいと思う。

【部会長】子どもの時から地域活動につなげ、実際に地域活動を担うリーダーにまで育成していくような考えを表しておくといいのではないか。

【委員】指標について、地域子ども教室の参加人数は指標としては妥当であると思うが、目標値が低いのではないか。

→【事務局】少子化で子どもの数が減少するので、参加者も減少するのが必然ではあるが、その状況でも参加者数を増やしていくという目標設定としている。今の目標でも高めであると認識している。

→【委員】誰が見ても理解できるような数字でないと指標としては相応しくないのではないか。参加率や事業回数等の方が分かりやすいのではないか。

1-3 学校教育の充実

◇委員からの主な意見・質問

【委員】規模の大きい学校とそうでない学校は、教育環境が全然違う。小規模校の先生は、勉強についてこられない子どもに対応してあげたいと思っても、現実的に人が不足し時間が取れないと聞く。均一に教育が受けられるような環境を整えないといけないのではないか。教育のあるべき姿を追求し、改革をしないといけない時は改革をする。そういう意思が計画に表れるといいと思う。具体的な部分は各論になってくると思うが、そういうところを考慮した各論としてもらいたい。

→【部会長】子どもへの条件という面から見ると、通学区域の見直しや弾力的な運用も含めた、子

ども一人一人への均一性を考慮することが大切である。一方、地域と協働し合う学校運営を考えると、地域との調整をしないといけない面がある。

→【事務局】小規模校、大規模校、それぞれに一長一短がある。小規模校は目が行き届きやすく、地域との密着が強い。一方大規模校は、クラスの定員が上限いっぱいクラスや、学校の一体感が築きにくいところもある。校区については、将来的には考えていく必要があると思う。教育条件については、学校により異なってはならない。

→【委員】小規模校は先生が体調不良で休むと代わりの先生がいなかったり、講師を呼ぶにもお金がないので呼べなかったりすると聞く。他の学校はできて、小さい学校はできないということがあってはならない。

→【部会長】働き方改革については、方針として取り上げている。必要な手当てが行き届かないところは教育の条件整備として市に受け止めていただきたい。一方、地域との連携、協働というのは、単に応援することも大切であるが、地域との関係性の中で子どもたちに新しい力をつけていこうとする方向であり、学校教育が転換を目指している部分である。

【委員】指標に「地域や社会をよくするために何がすべきかを考えたことがある」児童生徒とあるが、大人からそういう情報提供をしていないし、子どもを巻き込んで活動していない地域も多いのではないか。

→【部会長】これは全国学力・学習状況調査の質問調査に盛り込まれている内容であることから、学校教育が目指そうとしているところである。

→【事務局】全国学力・学習状況調査の項目の中に「地域活動に積極的に参加していますか」という項目があり、野洲市の子どもたちはここ10年、全国平均から離れて高い数値にある。ただ、地域活動には参加するが、自分が住んでいる地域を良くするためにどういうことをすればいいのかを考える機会というのは難しい。地域だけに任せるのではなく、当然学校でも地域学習をしていきたいと考えている。

→【部会長】子どもたちが積極的に地域と関わっており、野洲市の良い側面である。次はそこから先を伸ばしていきたいという思いと捉えられる。前回の会議でも、いろいろな活動をもう少し学校の中でやれるようになればいいという話があった。他の施策との関連も含めて学校の中でそういうことが進んでいくと、この指標が高まっていくことにもなるのではないか。

【部会長】GIGAスクールのことや、子どもの条件の均一化を考えると、指標の中にICTの類のことが入ってもいいかと思うがどうか。

→【事務局】ICTの活用状況については教員自らが評価することとなるので、指標としては適切ではないのではないかと思う。全国学力・学習状況調査があることで、点検はできている。

1-4 生涯学習・生涯スポーツ・文化芸術の推進

◇委員からの主な意見・質問

【委員】取組方針②の主な取組に「文化協会・総合型地域スポーツクラブ等」とあるが、他にもスポーツ協会、学校体育振興協会、スポーツ少年団等いろいろな団体がある。全部入れると長くなるのであれば、「文化協会、スポーツ協会」にするべきである。

【委員】指標②の文化ホール・さざなみホール・文化小劇場の利用については、商業的な事業が多いのではないか。生涯学習に積極的に取り組んでいる状況を見るならば、コミセン等の利用実績の方が

数値として表れているのではないか。

→【事務局】文化芸術の振興についてもこの施策には含まれており、商業的なものであっても文化芸術に触れる機会ということで、含めている。コミュニティセンターについては、市民活動や自治会活動の場でもあり、そちらの施策の指標として設定している。

→【委員】市民がくつろげてコミュニケーションを図れるような場所があればいい。また、美術作品を展示できるような設備があればいい。

→【部会長】機会の提供や環境整備において、既存の施設の使い勝手を含めて、可動域を広げていただきたいとのご意見をいただいた。

【委員】市の事業や市の関係団体が主催する事業への参加者は把握できるのか。参加者は市外の人が入っていてもいいと思うので、市関係事業とそれ以外を別に集計すればいいのではないか。

→【事務局】文化ホールの利用は商業的なもの、貸館事業、市の主催事業があるが、主な利用は商業的なものになる。市の関係事業だけを市民に対する事業の効果と捉えるのか、検討させていただく。

4 その他

○施策5の基本計画（素案）については、頂いた意見を踏まえて作成したものを配布させていただいた。意見があれば事務局まで願います。今後部会長と調整し、次の全体会で案をお示しさせていただく。

○9月12日（土）の午前10時から総合計画ワークショップを総合防災センターで開催する。

○総合計画審議会全体会を10月2日（金）午後2時から図書館ホールで開催する。

5 閉会